

## 「幡多山もりフェス 2017」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構  
森林整備センター 高知水源林整備事務所

高知水源林整備事務所（高知県高知市）は平成 29 年 11 月 12 日（日）に高知県四万十市の四万十川河川敷にて開催された「<sup>はた</sup>幡多山もりフェス 2017」に参加しました。

幡多地域の森林組合が主体となり設立した幡多山もりフェス実行委員会が運営を行う本イベント、今年で 5 回目となる今回は、『想う、創る、林業の未来』というテーマで開催されました。当日は爽やかな秋晴れとなり、林業関係の団体や企業、学校が出展した会場は大勢の参加者の方々に賑わいました。

第 1 回から出展している当事務所のブースでは、水源林造成事業の PR のためのパネルや水源林造成事業地の写真展示、パンフレットの配布を行うとともに、高知水源林育成士と共同で各種企画を催し、緑の募金へのご協力をお願いしました。

「松ぼっくりのクリスマスツリー作り」は時節柄もあり特に大盛況となり、ご参加いただいた方々には、ビーズ等で綺麗に飾り付けたツリーを大切に持ち帰っていただけました。「林業コスプレ」では、子供用の林内作業コスチュームを身に付けて、トイチェーンソーを手に意気揚々と記念撮影におさまるお子さんの姿に、ご家族方も大喜びのように見受けられました。恒例の「木への漢字当てクイズ」は、今年も大人から子供たちまで、様々な年代の方にチャレンジいただきました。布製のバッグに思い思いの絵を描いていただく「オリジナルエコバッグ作り」では、完成したバッグを子供たちが早速、肩にかけていました。

また、メインステージでは森林を題材とした紙芝居を高知水源林育成士と協力して行いました。集まった子供たちが夢中で見入っている様子から、森づくりの大切さが伝わったようにうかがえました。

ブースには昨年以前から引き続き足を運んで下さったという方もおられ、回を重ねて交流できることを嬉しく思うとともに、これからも出展を通じてより親しみや理解を深めていただくことができると感じました。

高知水源林整備事務所は、水源林造成事業の意義や重要性を広く知っていただくため、今後もイベント参加に積極的に取り組んでまいります。



松ぼっくりのクリスマスツリー作り



子供たちの林業コスプレ体験



木への漢字当てクイズ



オリジナルエコバッグ作り



森林を題材とした紙芝居